

西洋古典叢書 2022

## 医学について

ケルスス 著／石渡隆司 他 訳

四六変上製 700頁 予価：本体5200円+税  
ISBN978-4-8140-0427-0 C1310

刊行予定：2025年2月下旬 条件：新刊委託  
読者対象：一般～教養  
おすすめの棚：西洋古典学、哲学、医学  
おすすめ度：★★★★☆

### ◎「医学分野のキケロ」によるハンドブック

紀元前後に活動したローマ人による、農学・軍事・修辞・哲学・法学などからなる百科全書的な大作『学術誌』全6集の第2集に相当し、それ以外は散逸。著者は医師でなく、内容もヒポクラテスに多くを負うが、ギリシアの医学用語をラテン語に翻訳するという功績ゆえ、「医学分野のキケロ」と称された。序巻と本篇全8巻を1冊に収める。

◆石渡隆司：岩手医科大学名誉教授

プリミエ・コレクション 136

## ドイツ古典哲学と「学」の精神史

カントからヘーゲルへ

久富峻介 著

A5判上製 460頁 予価：本体5600円+税  
ISBN978-4-8140-0565-9 C3310

刊行予定：2025年2月下旬 条件：新刊委託  
読者対象：専門  
おすすめの棚：近代哲学  
おすすめ度：★★★★☆

### ◎ヘーゲルはいかにして「哲学者」になったか

ヘーゲルの『精神現象学』は徹頭徹尾時代の産物であり、先行者と同時代の人々との論争なくしては成立しなかった。カントの『純粹理性批判』の登場という衝撃によって生まれた様々な哲学論議、とりわけその中で醸成されたスピノザ主義を軸に検討し、時代のコンテクストをも踏まえながら、ヘーゲル哲学を「学」の構想のもとに位置づける。

◆久富峻介：京都大学人文学連携研究者



YouTube チャンネル  
京都大学学術出版会 BOOK SALON  
アドレス変更のお知らせ

新刊・「西洋古典叢書」・「新・動物記」などの紹介動画や著者インタビューを配信しています。ぜひご覧ください。

〈新アドレス〉  
[https://www.youtube.com/@booksalon\\_KUP](https://www.youtube.com/@booksalon_KUP)



## 注文書 12月号①

お申込みは→ 京都大学学術出版会 FAX：075-761-6190

番線印	冊	新刊委託指定	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当様		【西洋古典叢書】 <b>医学について</b> <span style="float:right">【1/31 締切】</span> ISBN 978-4-8140-0427-0 C1310 予価：本体 5200 円+税
番線印	冊	新刊委託指定	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当様		【プリミエ・コレクション】 <b>ドイツ古典哲学と「学」の精神史</b> <span style="float:right">【1/31 締切】</span> ISBN 978-4-8140-0565-9 C3310 予価：本体 5600 円+税